



研究会・研修会等への
報告者・講師の派遣
(平成22年4月～7月)

○ベクトル研究会
主 催..(社)北海道地域農業
研 究 所
と き..平成22年7月2日
テ ー マ..乳雄肥育牛生産展開の
背景
報 告..黒澤不二男(当研究所
・特別参与)

○長沼町22年度豊生大学講座
主 催..長沼町教育委員会
と き..平成22年7月6日
テ ー マ..スーパースター二宮尊
徳に学ぶ
講 義..黒澤不二男(当研究所
・特別参与)

○JICA 平成22年「地域開発
計画管理(A)」研修
主 催..(独法)国際協力機構
札 幌 国 際 セ ン タ ー
と き..平成22年7月6日
テ ー マ..農協の仕組みと制度
講 義..井上 誠司(当研究所
・研究部次長)

○平成22年度JICA中央アジア
有機農業コース研修
主 催..JICA北海道セン
ター(札幌)・北海道
農 業 開 発 公 社
と き..平成22年7月20日
テ ー マ..北海道農業を支える支
援組織
講 義..黒澤不二男(当研究所
・特別参与)

○山の手連合町内会女性部研修会
主 催..札幌市西区役所
と き..平成22年7月21日
テ ー マ..食の安全・安心につい
て
講 演..太田原高昭(当研究所
・顧問)

○農業法人人材派遣事業研修会
主 催..(株)パソナ・北海道
経 済 部
と き..平成22年7月23日
テ ー マ..農業の基本的仕組み

講 義..黒澤不二男(当研究所
・特別参与)

○札幌大学経済学部サービズ経済論
主 催..札幌大学経済学部
と き..平成22年7月28日
テ ー マ..北海道のシンクタンク
―北海道農業の果たす
役割―
講 義..正木 卓(当研究所・
専任研究員)

○米主産地における系統共販の軌
跡と到達点
主 催..北海道農業研究会
と き..平成22年7月31日
テ ー マ..北海道米の生産と販売
の軌跡
講 演..遠藤 卓也(当研究所
・特別研究員)

○第17回日韓農業シンポジウム
主 催..北海道農業研究セン
ター・北海道大学サテ
ライト・北海道地域農
業研究所
と き..平成22年8月6日
テ ー マ..北海道における耕作放
棄地の現状と課題
―2008年農水省耕
作放棄地現地調査をも
とに―
講 演..正木 卓(当研究所・

専任研究員)

○札幌市高齢者市民講座
主 催..札幌市教育委員会
と き..平成22年8月16日
テ ー マ..道産米物語―ゆめびり
かへの道―
講 演..太田原高昭(当研究所
・顧問)

○新分野進出チャレンジ研修会
主 催..札幌市雇用促進推進機
構
と き..平成22年9月1日
テ ー マ..農業分野参入の方法と
留意点
講 演..黒澤不二男(当研究所
・特別参与)

○平成22年度JICA中・東欧市
場経済コース
主 催..JICA北海道セン
ター(帯広)・北方圏
交 流 機 構
と き..平成22年9月17日
テ ー マ..北海道農業を支える支
援組織
講 義..黒澤不二男(当研究所
・特別参与)

編集後記

○ 気象庁及び気象研究者がこの

五月時点で、『春の天気、冷夏であった一九八〇年と九三年に類似しており、北日本は冷夏の恐れあり』との報道がなされていたが一転して全国的な猛暑。熱津波か熱洪水とも言うべき猛暑は多くの人の熱中症だけでなく、幼児の虐待死、白骨化した老人・戸籍上だけの超高齢者、なんとも情けない汚れた大相撲、度重なる山岳遭難

等など暗い事件・事故の頻発。加えて、農作物・畜産にも大きな影響が出て農家の皆さんの落胆を思うとつらい夏であった。

○ この六月に政府の『新成長戦略』が決定した。農業を地方経済の核となる成長産業と位置づけ『強い農業』を目指す。戸別所得補償制度、六次産業化、食の安全・安心確立がその三本柱である。そうした中で、参院選で与党民主党の大敗、その後の菅改造内閣の発足。円高にデフレ、財政危機、普天間や日中関係の悪化など抱え

る問題は山積。農業関係では、戸別所得補償制度の法案化、来年度予算執行に必要な予算関連法案の審議などこれからの『ねじれ国会』において本格論議が開始される。農業・食料政策において農業団体が与野党の接点となつてより良い農政の実現となつてもらいたいものだ。

○ 中国が経済力アップを背景とする食生活の変化に対応して、穀物輸入が加速しているという。これまで国内自給してきたとうもろこしの大量輸入、大豆においては

二〇〇九年度には世界の輸入量の五七%を中国が買っているとの計算になるようだ。これらの影響はわが国にも及び穀物輸入価格の値上げ圧力が強まるのは必至といわれている。国内自給力の向上がいかに大切か考えさせられる。

○ 道民球団日本ハムファイターズ、一時は借金一四。驚異の粘りであったがクライマックスシリーズ出場へはあと半歩。それでも道民には勇気と希望を与えてくれたのでは。
(中出 孝一)

DATA FILE

関連事項／DATA

北海道農業協同組合中央会

〒060-0004

札幌市中央区北4条西1丁目1北農ビル

☎ 011(232)6405

FAX 011(232)6418

株式会社 米夢館

〒092-0003

網走郡美幌町字鳥里4丁目4-4

☎ 0152(73)5318

FAX 0152(73)5319

帯広畜産大学

〒080-8555

帯広市稲田町西2線11番地

☎ 0155(49)5111

FAX 0155(49)5229

蘭越町役場

〒048-1392

磯谷郡蘭越町蘭越町258番地5

☎ 0136(57)5111

FAX 0136(57)5112

ようてい農業協同組合

〒044-0011

虻田郡倶知安町南1条東2丁目5-2

☎ 0136(21)2311

FAX 0136(21)2321

(社)北海道地域農業研究所

〒062-0041

札幌市豊平区福住1条4丁目13番13号

☎ 011(859)6010

FAX 011(852)6663

HP: <http://www.chiikinouken.or.jp>